

平成 29 年度教育事業

ボランティア養成研修兼自然体験活動指導者 (NEALリーダー) 養成事業

「やる気！ 元気！ ボランティア」

1 趣 旨

- ・ ボランティア活動に必要な知識や技能の向上を図り、ボランティアとしての資質を高め、広く社会でボランティア活動に取り組める青少年を育成する。
- ・ 全国体験活動指導者認定委員会が制定した「自然体験活動指導者養成カリキュラム」に則り、子供の発達段階に応じて安全に活動が指導できる人材を養成する。

2 日 程

(1) 期 日

【養成セミナー】 平成 29 年 5 月 27 日 (土)～28 日 (日)【1 泊 2 日】

【ステップアップ】平成 29 年 9 月 30 日 (土)～10 月 1 日 (日)【1 泊 2 日】

(2) 参加者

【養成セミナー】 51 名

【ステップアップ】 36 名 (養成セミナーからの継続 35 名、他施設ボラ 1 名)

(3) 研修内容及び講師

【養成セミナー】

1 日目 (5/27)	○「心と体をほぐして仲間を作ろう♪」講師: 交流の家 職員 ○「ボランティアってなあ～に？」講師: ボランティアセンター所長 古川浩子 氏 ○「能登青少年交流の家って、どんなところ？」講師: 交流の家次長 松本 猛 ○「能登の活動を体験しよう♪野外炊飯編」講師: 交流の家 職員 ○「体験でたくましい子供を育てる」講師: 金沢大学教授 松本謙一 氏
2 日目 (5/28)	○「安全に活動するために～救命救急法講習～」講師: 羽咋消防署職員 ○「広がれ！ のとボラの WA！」講師: 先輩ボランティア、交流の家職員

【ステップアップセミナー】

1 日目 (9/30)	○「自然体験活動の楽しさって？ 意義って？」講師: キープ協会部長 鳥屋尾健 氏 ○「能登の活動を体験しよう♪ナイトアドベンチャー編」講師: 交流の家 職員
2 日目 (10/1)	○「子供たちを理解するために必要なこと」講師: 金沢星稜大学教授 池田幸應 氏 ○「子供たちの前に立つ前に…心構えや倫理観」講師: 金沢星稜大学教授 池田幸應氏 ○「能登の活動を体験しよう♪アーチェリー編」講師: 交流の家 職員

3 成果と課題

(1) アンケートによる事業評価

事業全体の満足度について、養成セミナーでは 84.3%の参加者から、ステップアップセミナーでは 86.1%の参加者から「満足」の評価を得ることができた。

《参加者の記述より》

- 子供が共感してほしいことを認め、したいことを支援する大切さを学んだ。
- 子供の想いを察する力を身に付け、子供達に考えさせ、理解させ、行動させることが大切であると学んだ。
- 体験することの大切さを学んだ。どのような体験があるか、それを通して、どのような力が身に付くか、たくさん書き出すことで、改めて理解を深めることができた。
- 先輩ボランティアの話が印象に残った。プレゼンから熱意が伝わり、聞いていて、なるほどと思った。

(2) 成果と課題

《成果》

- 昨年度の反省を踏まえ、ボランティア養成セミナーの開催を従来の5月下旬に戻すとともに、学生ボランティア団体に直接広報したことで、参加者が昨年度から増加した(昨年度25名)。
- 先輩ボランティアに全日程の事業運営に携わってもらうとともに、能登でのボランティア活動の紹介やボランティア活動を通して感じたことを話す時間を設けたことで、参加者にボランティアの魅力がより一層伝わった。
- ステップアップセミナーで「ナイトアドベンチャー」と「アーチェリー」という能登の人気活動プログラムを取り入れたことで、能登の魅力を伝えることができた。

《課題》

- 昨年度に比べて、参加学生が多いとはいえ、大学単位認定の学生と、学生ボランティア団体所属の学生で参加者の9割を占めた。もっと幅広く参加者を募る方法を検討する必要がある。
- 大学単位互換にかかる学生が31名参加し、多くの学生に、体験活動の重要性を伝える機会と場を提供することができた一方で、各事業のボランティアが、単位認定の学生で充足し、その他のボランティアが事業に携わることができない状況が発生した。
- NEAL事業との兼ね合いで、1泊2日を2回実施する形態をとったが、大学単位認定の受講生以外で、養成セミナーとステップアップセミナーを通して受講した参加者は4名であった。昨年度実施した、2泊3日の日程に戻すなど、NEALの資格取得もしやすい事業形態を検討する必要がある。
- NEAL科目については、引き続き専門性の高い講師陣を迎える必要がある。過去2年間、同じ講師陣に依頼しており、好評を得ているが、その講師に囚われることなく、講師候補者のリストアップを行い、質の高い事業実施に努める。
- 本セミナーを受講した参加者が、来年度以降も、継続して能登でのボランティア活動に関わってもらえるよう、魅力的な事業企画、ボランティア活動の意義の発信、ボランティアの支援体制構築等に努める必要がある。

